

静岡県月例経済報告

(平成30年12月号)

……平成30年10月を中心とした県内経済のすがた……

No. 512

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年10月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年10月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(10月)は、百貨店が2か月連続、スーパーが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(10月)は、コンビニエンスストアが5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が5か月連続、ドラッグストアが20か月連続、ホームセンターが2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(10月)は、乗用車が13か月ぶり、軽自動車が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総数でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(10月)は、貸家が3か月連続で前年実績を下回ったものの、持家が2か月連続、分譲住宅が4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(10月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年12月14日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(10月)は、4か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、持ち直しの動きがみられる」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（10月）は、エアコンが5か月ぶり、自動車は2か月ぶり、自動車の部品が6か月ぶり、二輪自動車類が9か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（10月）は、魚介類及び同調製品が4か月ぶり、木材が3か月ぶり、パルプ、原動機がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が2か月連続、自動車の部品が7か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも7か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、816億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（9月）は、はん用・生産用・業務用機械が11か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械が3か月連続、輸送機械が2か月ぶり、食料品・たばこが5か月ぶりに前年水準を上回った。総合では前年と同水準だった。また、4か月連続で前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（9月）は、総合では12か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（10月）は1.64倍で、前月を0.06ポイント下回った。また、57か月連続で1倍を上回った。なお、20か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（10月）は、63か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（9月）は、10か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（10月）は、前年同月比 1.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（10月）は、前年同月比 1.5%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（11月）は、件数は17件（前年同月比 19.0%減）、負債総額は22億3,800万円（同73.3%減）と、前年実績を下回った。

<トピックス> 水産業活性化の最前線 ～ 様々な取組の成果が発現中 ～

県は、本県水産業の更なる発展に向けて、「水産振興」「人材確保・育成」「資源管理」を3本の柱として取り組んでおり、その成果が着実に現れ始めています。

「水産加工分野の表彰」

平成30年度農林水産祭において、水産加工分野で天皇杯及び内閣総理大臣賞をダブル受賞しました。天皇杯の受賞は18年ぶり、ダブル受賞は史上初です。



内閣総理大臣賞受賞 焼津冷蔵 株式会社
受賞内容 しめさばの新たな価値の創出と農工商連携等による地域ブランディング



天皇杯受賞 有限会社 西尾商店
受賞内容 いわし削り節の継承とだし文化の普及

「漁港漁協食堂の来客者数の増加」



関係団体が横断的に連携して、県下各地にある漁協漁港食堂の一斉キャンペーンを実施し、平成29年度は漁協直営食堂だけでも年間50万人、他の水産関係団体運営も含めると年間75万人の来客数を達成しています。

「漁業高等学園の入学者数と海技士試験合格者」



近年、定員割れが続いていた漁業高等学園の入学者数について、平成27年度以降は入学定員（20名）をほぼ充足したほか、2年連続で3級海技士合格者を輩出するなど海技士試験成績も上昇しています。

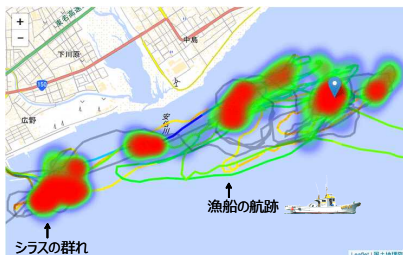
「マダいの種苗生産・放流数の増加」

種苗生産・中間育成を一から見直し、マダいの生残率が飛躍的に増加しています。今年度のマダイ種苗の放流数は、平成25年から平成28年平均の倍近い放流数に増加しています。



「ICT活用による資源管理の研究」

これまで漁業者が個々の魚探機器や経験的に判断していた魚群探索について、ICT技術を活用して、複数漁船の魚探情報を統合し、魚群密度と位置情報のマップをほぼリアルタイムで作成・配信するシステムの開発が本格化しています。本システムをサクラエビの資源管理に応用することで、今後資源管理の高度化や操業の効率化が大きく進展する可能性があります。



魚群マップから、漁期中の資源量を推定
(画像はシラスの魚群マップ)

【目指す姿】資源管理の高度化

ICT技術を活用し精緻な資源量の推定ができれば、適切な資源管理対策の導入が可能となり、サクラエビの持続的利用が図られるようになります。

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

10月 = 33,408百万円

*前年同月比： 0.8%減

(県内3百貨店、135スーパー合計)

<概況>

10月の大型小売店販売額は33,408百万円で、前年同月比 0.8%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.6%減）が2か月連続、スーパー（同 0.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 1.2%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 7.0%減）、身の回り品（同 5.6%減）がいずれも4か月連続、家庭用品（同 0.6%減）が13か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.6%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額(百万円)	33,271	32,240	32,970	33,375	35,213	33,855	32,358	33,408
前年同月比(%)	▲2.8	▲2.8	▲3.6	▲0.1	▲1.1	0.0	3.0	▲0.8
うち百貨店(%)	▲2.5	▲2.7	▲6.0	2.1	▲7.5	1.9	▲0.2	▲1.6
スーパー(%)	▲2.9	▲2.9	▲3.0	▲0.6	0.6	▲0.4	3.8	▲0.6
(参考1)全国前年同月比(%)	0.1	▲0.8	▲2.0	1.5	▲1.6	▲0.1	0.4	▲0.8
うち百貨店(%)	0.9	1.5	▲1.2	4.0	▲5.1	0.6	▲2.6	1.1
スーパー(%)	▲0.4	▲1.8	▲2.4	0.3	0.3	▲0.4	1.7	▲1.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.5	▲2.4	▲3.1	0.3	▲1.9	▲0.4	2.7	▲0.6

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣料品	▲1.3	▲2.8	▲6.3	0.4	▲7.8	▲1.5	▲0.7	▲7.0
うち紳士服・洋品	▲5.0	▲0.3	▲10.3	▲2.3	▲6.0	▲3.2	▲1.0	▲7.5
婦人・子供服・洋品	1.0	▲3.4	▲4.7	2.3	▲8.1	▲1.8	▲1.0	▲5.6
身の回り品	▲3.8	▲7.4	▲2.6	1.4	▲6.9	▲0.2	▲3.2	▲5.6
飲食料品	▲2.2	▲2.7	▲2.9	0.0	1.0	0.7	4.8	1.2
家庭用品	▲4.1	▲5.4	▲1.7	▲6.1	▲8.5	▲6.6	▲1.5	▲0.6
うち家庭用電気機械器具	3.5	1.7	9.0	17.5	6.7	▲1.4	10.8	8.4

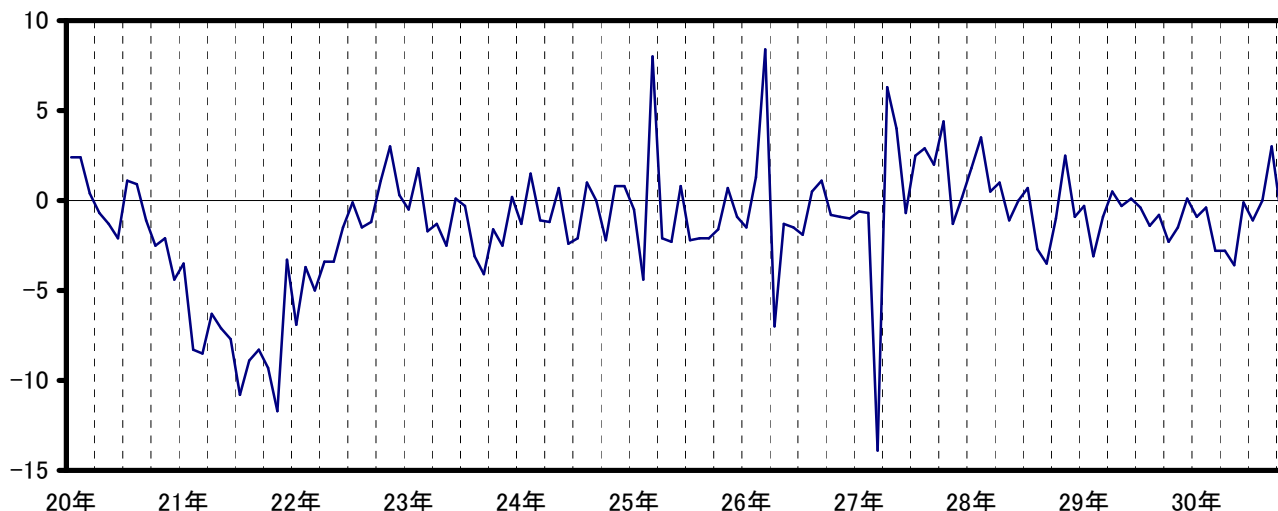
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

10月 = 67,157百万円

*前年同月比： 4.3%増

(県内95家電大型専門店、1,694コンビニエンスストア、482ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

10月の専門量販店等販売額は67,157百万円で、前年同月比 4.3%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 0.1%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 1.7%増）が5か月連続、ドラッグストア（同 7.4%増）が20か月連続、ホームセンター（同 15.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額(百万円)	68,567	66,761	67,364	66,876	76,985	72,295	66,929	67,157
前年同月比(%)	1.8	3.0	▲0.8	3.1	2.7	1.9	5.1	4.3
うち 家電大型専門店(%)	▲0.2	2.3	▲0.6	9.8	4.1	2.7	10.8	1.7
コンビニエンスストア(%)	1.1	1.2	▲1.2	0.9	0.6	1.0	3.6	▲0.1
ドラッグストア(%)	4.3	7.4	3.1	4.9	6.9	4.3	6.4	7.4
ホームセンター(%)	0.8	▲0.2	▲7.6	0.1	▲1.0	▲1.0	1.4	15.5
(参考)全国前年同月比(%)	3.4	3.0	0.3	3.9	1.7	1.8	4.9	2.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

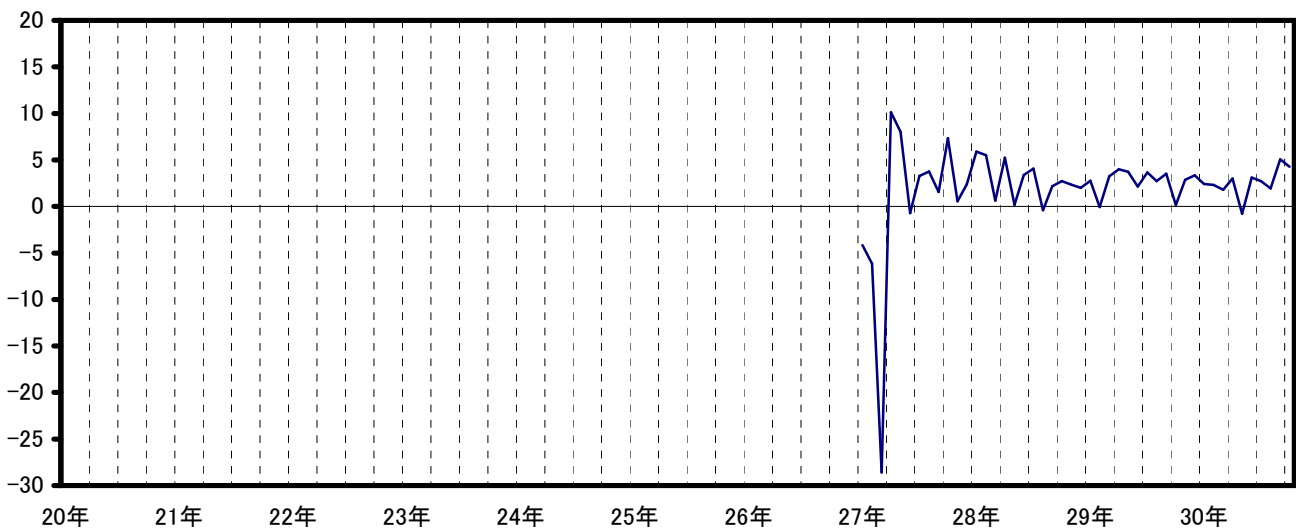
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

10月 = 14,092 台

*前年同月比： 13.8%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

10月の自動車(新車)新規登録台数は14,092台(前年同月比 13.8%増)と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 15.7%増)が13か月ぶり、軽自動車(同 11.6%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録台数(台)	23,209	11,883	12,332	15,629	14,618	12,013	16,766	14,092
前年同月比(%)	▲ 4.9	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.6	2.6	▲ 1.5	▲ 5.3	3.3	4.0	▲ 3.3	11.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

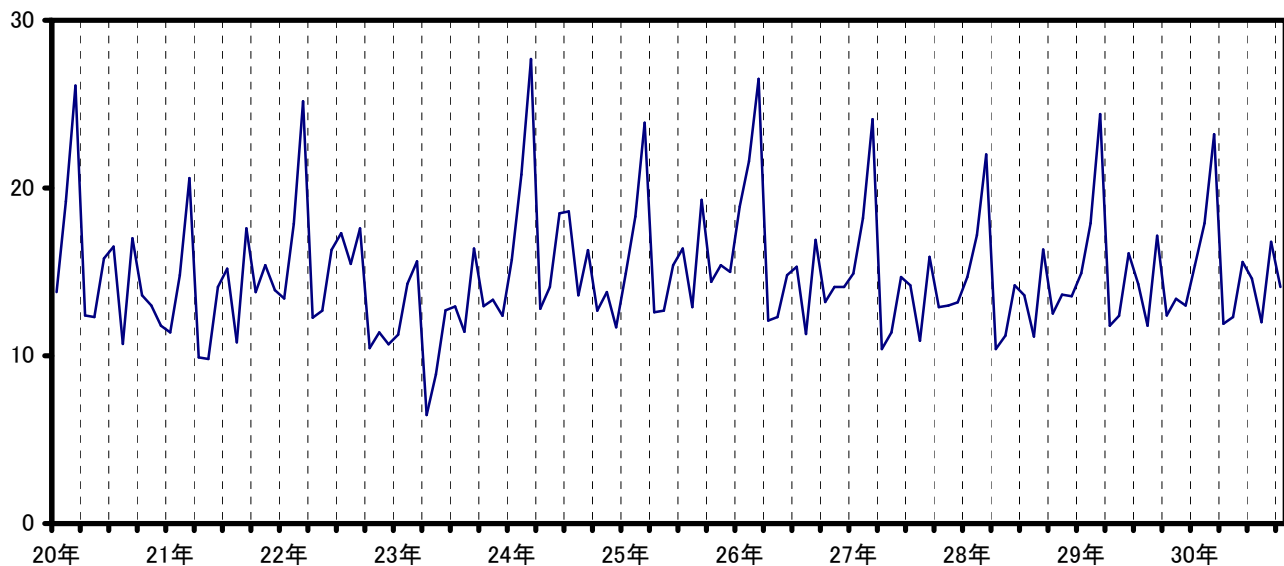
	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全乗用車	▲ 4.9	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8
乗用車	▲ 7.7	▲ 2.7	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 0.4	▲ 3.0	▲ 3.1	15.7
軽自動車	▲ 0.9	5.6	0.8	6.2	6.0	8.7	▲ 1.2	11.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

10月 = 2,059 戸

*前年同月比： 2.3%増

<概況>

10月の新設住宅着工戸数は2,059戸で、前年同月比 2.3%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 7.5%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、持家（同 8.3%増）が2か月連続、分譲住宅（同 5.8%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

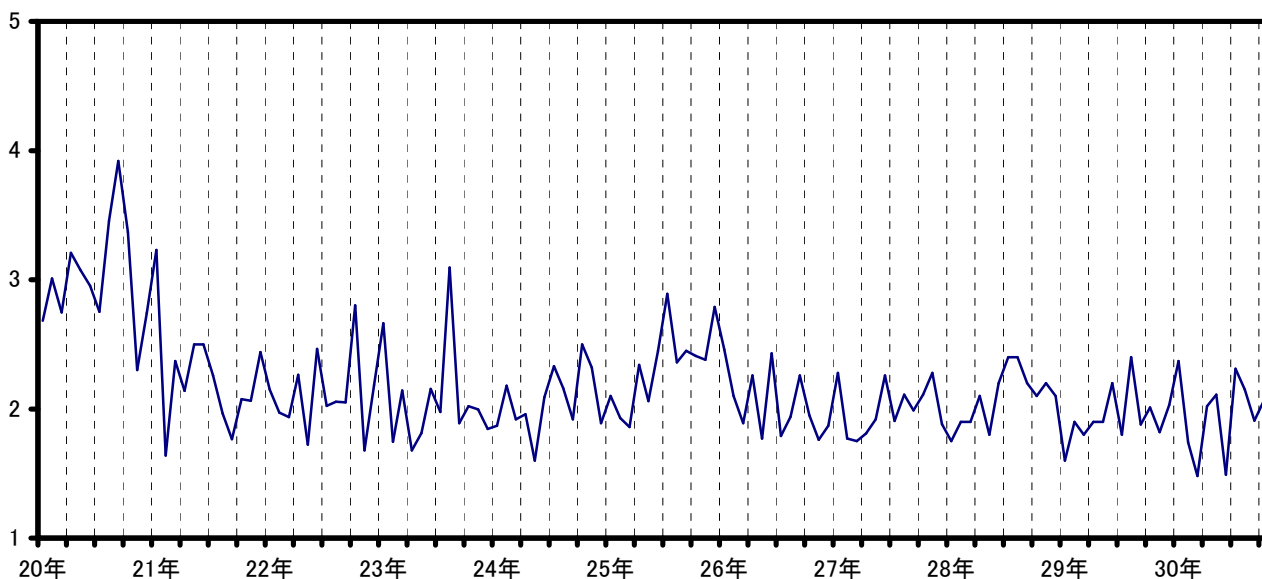
	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
戸数（戸）	1,483	2,015	2,108	1,489	2,309	2,152	1,908	2,059
前年同月比（%）	▲ 17.9	7.0	8.8	▲ 32.6	25.6	▲ 9.8	1.6	2.3
うち持家（%）	▲ 3.4	5.3	4.5	▲ 25.4	4.1	▲ 1.9	4.7	8.3
貸家（%）	▲ 22.9	8.6	9.0	▲ 46.7	70.1	▲ 26.8	▲ 10.2	▲ 7.5
分譲住宅（%）	▲ 37.2	11.1	21.8	▲ 23.2	30.9	7.2	36.4	5.8
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 8.3	0.3	1.3	▲ 7.1	▲ 0.7	1.6	▲ 1.5	0.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

10月 = 23,847百万円

*前年同月比：12.5%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

10月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は23,847百万円で、前年同月比12.5%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は738件で、前年同月比1.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額(百万円)	16,358	61,467	30,683	30,461	29,729	28,357	41,187	23,847
前年同月比(%)	1.7	11.6	53.1	▲6.8	9.9	16.8	▲9.9	12.5
年度累計前年同月比(%)	▲0.7	11.6	22.6	13.7	12.9	13.5	8.3	8.7
件数(件)	195	586	564	707	872	857	1,185	738
前年同月比(%)	▲17.0	18.4	20.8	▲1.9	17.0	8.2	▲13.6	1.2
年度累計前年同月比(%)	▲3.8	18.4	19.5	10.3	12.4	11.4	3.9	3.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

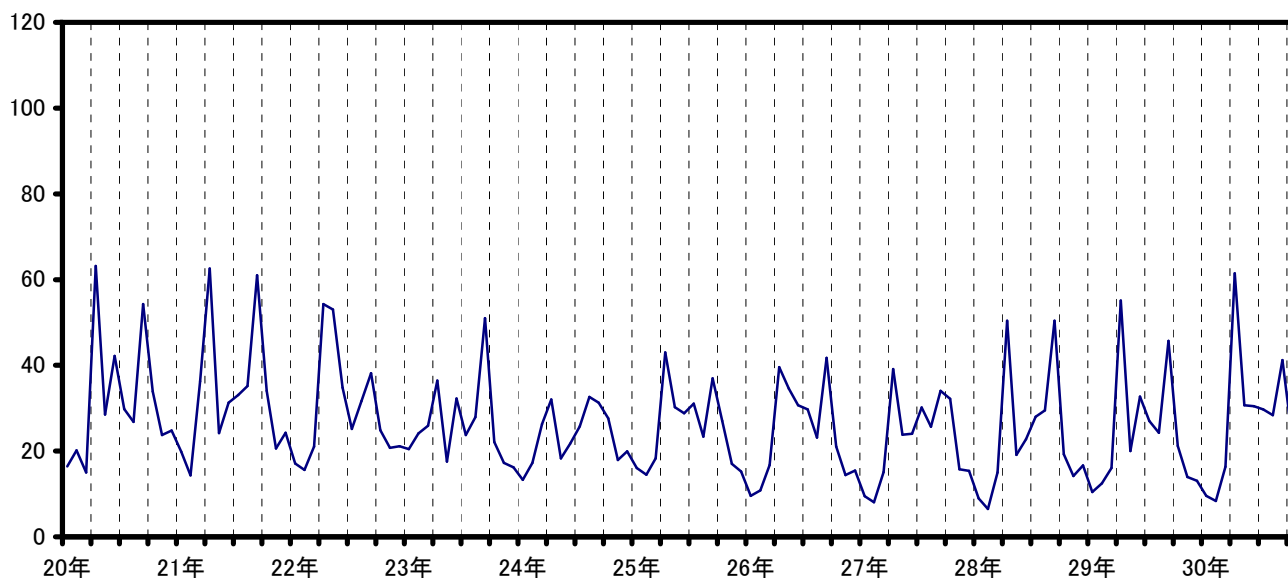
	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国	▲44.9	9.2	122.3	113.4	129.5	▲0.8	▲54.8	▲25.9
独立行政法人等	1,746.6	▲8.5	61.9	▲65.3	488.7	▲35.1	238.5	424.5
県	▲23.0	▲2.0	8.7	4.3	45.6	20.6	▲12.0	2.4
市町	54.2	70.0	13.6	▲17.3	0.2	21.1	▲16.2	14.6
地方公社	—	204.5	1,292.4	—	▲95.2	▲91.5	▲32.1	290.5
その他	▲96.0	▲5.1	—	2.8	▲76.8	106.3	▲59.7	▲58.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 9.6%増）、非製造業（同 7.2%増）、全産業（同 8.5%増）の全てにおいて増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 11.7%増）、非製造業（同 8.1%増）、全産業（同 10.8%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

10月の着工建築物床面積（非居住用）は115,833㎡で、前年同月比 1.5%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	2.8	(▲3.3) 8.5
	全国	4.4	(1.7) 10.4
製造業	県	3.2	(▲3.5) 9.6
	全国	6.3	(▲0.9) 15.4
非製造業	県	2.3	(▲3.0) 7.2
	全国	3.4	(3.3) 7.5

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	5.3	(▲2.2) 10.8
	全国	4.6	(0.3) 9.6
製造業	県	6.8	(▲2.2) 11.7
	全国	4.4	(▲0.6) 10.3
非製造業	県	1.4	(▲2.2) 8.1
	全国	4.8	(1.3) 8.8

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年12月調査)」

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	63,422	162,014	179,797	136,094	284,663	153,769	236,654	115,833
前年同月比（%）	▲ 28.9	8.1	24.0	▲ 22.8	142.5	17.2	187.3	▲ 1.5
(参考) 全国前年同月比（%）	17.5	0.5	▲ 6.8	▲ 5.0	8.8	▲ 10.9	▲ 7.3	▲ 3.2

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年9月	30年12月	31年3月 (予測)
全産業	14	14	10
製造業	20	14	9
非製造業	9	14	11
(参考) 全国・全産業	15	16	10

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年12月調査)」

5 輸出

10月 = 186,624百万円

*前年同月比： 0.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸出総額は186,624百万円で、前年同月比 0.6%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 20.4%減）が5か月ぶり、自動車（同 25.8%減）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 2.8%減）が6か月ぶり、二輪自動車類（同 17.9%減）が9か月連続、科学光学機器（同 5.4%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 38.9%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、EU向け（前年同月比 20.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 2.8%増）が8か月連続、米国向け（同 18.7%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出総額(百万円)	187,025	188,363	158,117	193,158	182,834	174,267	192,397	186,624
前年同月比(%)	▲ 5.1	▲ 1.8	5.6	10.4	▲ 1.1	1.7	9.3	0.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原動機	▲ 6.9	▲ 1.7	▲ 5.9	6.0	1.0	11.8	29.1	38.9
エアコン	18.4	21.2	▲ 3.6	32.1	12.6	10.4	2.2	▲ 20.4
自動車	▲ 54.4	14.7	192.2	8.0	▲ 19.3	▲ 23.3	33.3	▲ 25.8
自動車の部分品	▲ 6.2	▲ 9.0	0.5	11.6	7.7	0.0	12.1	▲ 2.8
二輪自動車類	▲ 21.8	▲ 18.6	▲ 37.3	▲ 12.6	▲ 20.4	▲ 27.8	▲ 19.2	▲ 17.9
科学光学機器	▲ 2.4	▲ 1.6	43.5	10.8	▲ 4.2	▲ 18.9	▲ 14.8	▲ 5.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	1.2	0.1	5.1	18.5	7.6	2.8	9.1	2.8
米国	▲ 2.4	▲ 9.0	▲ 7.5	9.2	▲ 8.2	14.7	2.5	18.7
EU	▲ 20.1	▲ 2.4	17.4	▲ 16.0	▲ 13.8	▲ 15.8	25.0	▲ 20.0

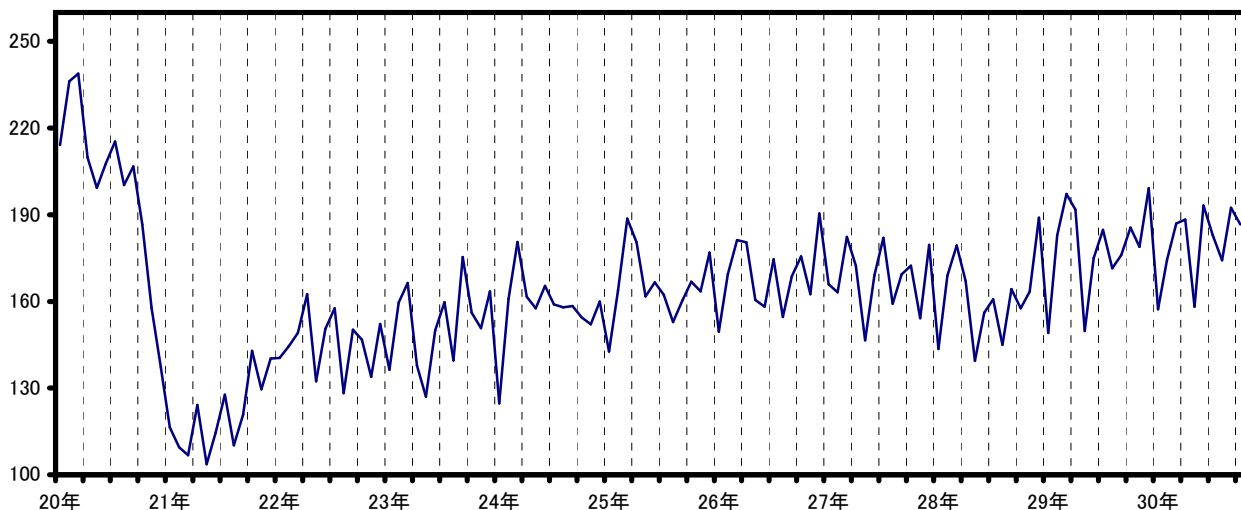
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

10月 = 105,008百万円

*前年同月比： 43.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸入総額は105,008百万円で、前年同月比 43.2%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 35.3%増）が4か月ぶり、木材（同 2.3%増）が3か月ぶり、パルプ（同 81.0%増）、原動機（同 40.0%増）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 5.2%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 30.7%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 13.8%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジアから（同 35.1%増）が2か月ぶり、EUから（同 55.9%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸入総額(百万円)	78,836	93,691	97,600	87,832	96,108	89,368	84,673	105,008
前年同月比(%)	▲ 13.0	18.9	21.5	4.9	17.0	4.6	1.2	43.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
魚介類及び同調製品	▲ 13.1	34.0	30.9	2.9	▲ 5.8	▲ 8.4	▲ 15.5	35.3
木材	5.5	10.7	13.5	▲ 1.7	23.4	▲ 6.0	▲ 21.5	2.3
パルプ	23.2	24.7	18.4	8.3	47.4	6.5	▲ 24.0	81.0
紙類及び同製品	▲ 4.1	▲ 2.6	44.8	35.3	▲ 5.4	▲ 19.3	9.4	5.2
原動機	▲ 21.4	▲ 27.6	109.2	8.7	3.5	51.7	▲ 21.0	40.0
自動車の部分品	▲ 20.7	10.0	7.9	24.6	48.9	13.9	33.2	30.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

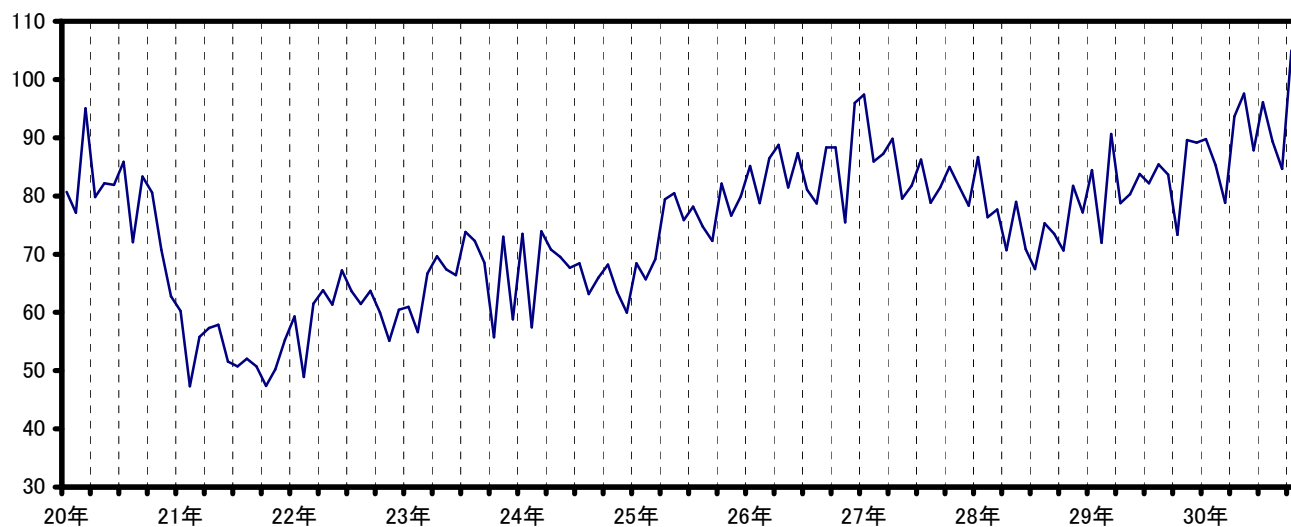
	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	▲ 11.8	11.2	27.6	1.9	19.9	8.7	▲ 5.7	35.1
米国	▲ 3.9	▲ 5.7	12.3	▲ 6.7	8.4	21.8	▲ 19.9	▲ 13.8
EU	4.9	20.0	10.1	▲ 1.5	3.9	14.2	2.0	55.9

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

9月 = 96.0

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.7%増

*前年同月比(原指数) : 同水準

<概況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は96.0(季節調整済指数)で、前月比1.7%増と、4か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は前年と同水準だった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.1%減)が11か月連続、化学(同2.9%減)、パルプ・紙・紙加工品(同0.1%減)がいずれも3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械(同6.8%増)が3か月連続、輸送機械(同0.4%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同1.6%増)が5か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	92.4	92.1	92.8	91.8	92.9	93.1	94.4	96.0
前月比(%)	2.0	▲0.3	0.8	▲1.1	1.2	0.2	1.4	1.7
前年同月比(%)	▲1.8	▲3.7	▲0.2	0.0	▲1.9	2.4	1.1	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	1.4	2.2	2.5	4.2	▲1.2	2.3	0.6	▲2.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲4.2	▲8.6	▲2.4	▲13.2	▲11.0	▲11.0	▲4.2	▲1.1
電気機械工業	1.6	3.8	1.1	▲3.1	▲7.8	5.0	6.2	6.8
輸送機械工業	▲8.2	▲10.3	▲4.6	0.8	3.2	6.8	▲2.8	0.4
化学工業	▲0.7	2.7	▲1.9	9.1	▲2.3	4.6	9.0	▲2.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.7	0.7	▲1.9	0.5	▲1.3	1.3	0.1	▲0.1
食料品・たばこ工業	7.2	▲2.2	10.5	▲4.2	▲0.4	▲2.7	▲3.3	1.6

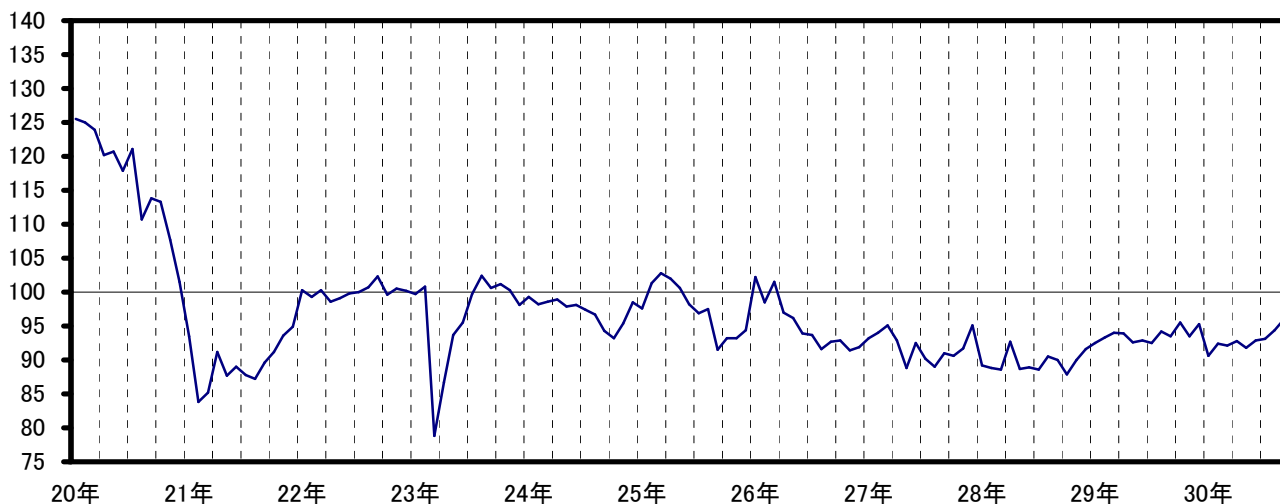
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

9月 = 128.7

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%増

*前年同月比(原指数) : 13.8%増

<概況>

9月の鋳工業在庫指数(総合)は128.7(季節調整済指数)で、前月比は3.0%増と、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は13.8%増と、12か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比2.9%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.3%減)が15か月連続、食料品・たばこ(同3.0%減)が4か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同6.9%増)が9か月連続、輸送機械(同9.1%増)が8か月ぶり、化学(同50.8%増)が16か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	123.9	125.3	123.8	126.1	123.7	122.7	124.9	128.7
前月比(%)	4.8	1.1	▲1.2	1.9	▲1.9	▲0.8	1.8	3.0
前年同月比(%)	4.9	8.1	7.1	10.2	6.1	7.5	9.6	13.8
(参考)全国前年同月比(%)	1.6	4.1	1.9	2.5	2.5	2.8	2.9	5.5

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	6.7	5.8	8.3	7.1	0.8	8.9	10.2	6.9
電気機械工業	7.9	▲3.2	4.9	▲1.4	▲14.0	▲10.7	▲12.8	▲2.9
輸送機械工業	▲5.7	▲7.8	▲13.7	▲11.6	▲26.8	▲18.4	▲12.7	9.1
化学工業	27.6	50.8	48.0	60.5	49.3	41.7	44.9	50.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲10.3	▲8.6	▲9.2	▲9.9	▲8.5	▲6.9	▲4.8	▲1.3
食料品・たばこ工業	11.8	2.8	3.0	0.4	▲7.5	▲5.8	▲1.0	▲3.0

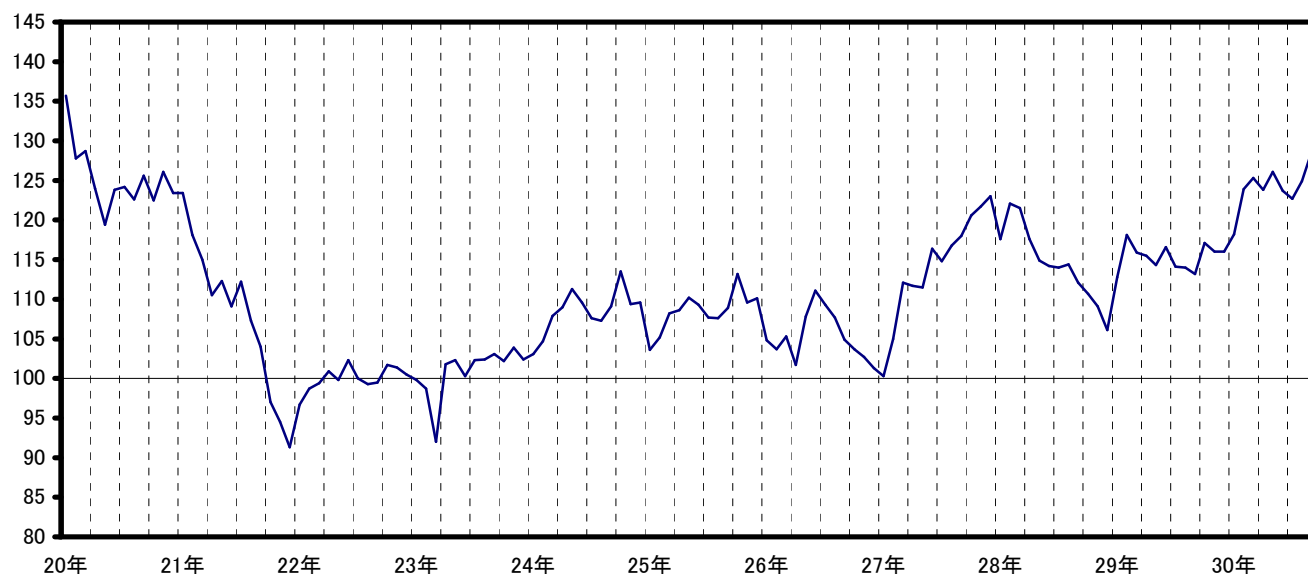
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

10月 = 1.64倍

*前月比（季節調整値）：0.06ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

10月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.64倍となり、前月を0.06ポイント下回った。また、20か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比1.3%減）は2か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、製造業（前年同月比16.7%増）、運輸業・郵便業（同6.5%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業（同8.5%減）が3か月連続、情報通信業（同31.1%減）、卸売業・小売業（同11.4%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同4.5%減）がいずれも2か月連続、医療・福祉（同10.1%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
県	1.66	1.68	1.70	1.72	1.73	1.70	1.70	1.64
全 国	1.59	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64	1.62

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建 設 業	8.5	0.1	4.5	3.9	6.6	▲ 1.7	▲ 10.4	▲ 8.5
製 造 業	16.5	21.3	26.2	0.3	11.8	17.1	▲ 4.8	16.7
情 報 通 信 業	▲ 13.2	11.2	▲ 16.5	24.4	▲ 1.5	2.9	▲ 11.4	▲ 31.1
運 輸 業 ・ 郵 便 業	11.5	4.3	16.1	22.9	16.2	10.7	▲ 3.5	6.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	3.2	0.7	5.9	1.2	▲ 7.5	0.9	▲ 9.1	▲ 11.4
医 療 ・ 福 祉	5.1	3.1	4.0	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 10.1
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 1.5	▲ 5.9	28.4	1.4	21.4	5.1	▲ 18.1	▲ 4.5
合 計	7.7	2.1	14.2	3.9	6.6	4.6	▲ 9.1	▲ 1.3

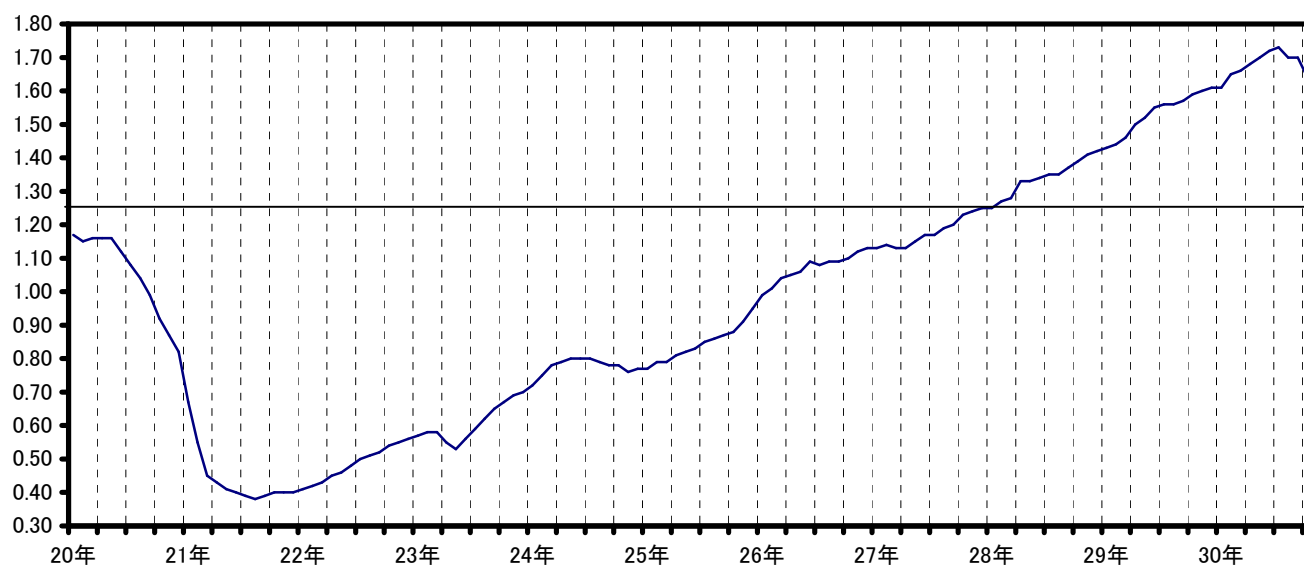
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

10月 = 10,885人

*前月比: 2.6%増

*前年同月比: 2.0%減

<概況>

10月の雇用保険受給者実人員は10,885人で、前月比は2.6%増と、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は2.0%減と63か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.4%で、前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(平成30年7~9月)の完全失業率は2.0%で、前期(30年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人員(人)	9,460	9,236	10,839	10,513	10,974	11,407	10,605	10,885
前月比(%)	▲1.8	▲2.4	17.4	▲3.0	4.4	3.9	▲7.0	2.6
前年同月比(%)	▲5.7	▲3.1	▲0.5	▲4.6	▲1.1	▲3.7	▲5.6	▲2.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.5	▲3.5	▲0.9	▲5.2	▲0.3	▲2.3	▲1.6	0.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.5	2.2	2.4	2.5	2.4	2.3	2.4

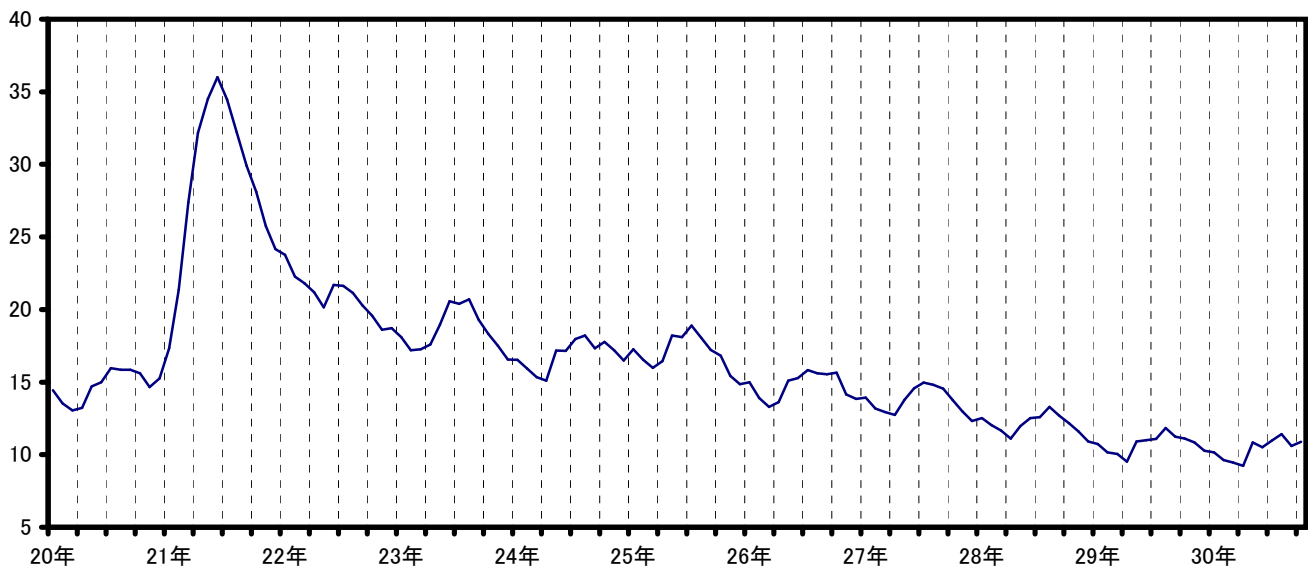
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

9月 = 91.1

*前月比(季節調整済指数): 7.0%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 13.4%減

<概況>

9月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は91.1(季節調整済指数)で、前月比7.0%減となった。また、前年同月比(原指数)は13.4%減と10か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比85.7%増)が11か月連続、卸売業・小売業(同6.4%増)が3か月連続、その他のサービス業(同6.8%増)が9か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同62.4%減)が4か月連続、製造業(同7.0%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同10.1%減)が7か月連続、医療・福祉(同20.4%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	94.2	91.6	92.0	97.1	93.9	97.8	98.0	91.1
前月比(%)	3.2	▲2.8	0.4	5.5	▲3.3	4.2	0.2	▲7.0
前年同月比(%)	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.3	▲1.6	▲1.5	0.8	0.8	0.0	▲2.5	▲1.7

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建設業	▲48.4	▲51.0	▲17.2	284.8	▲44.5	▲33.8	▲53.1	▲62.4
製造業	▲8.3	▲11.4	▲6.0	▲7.9	▲0.5	3.2	▲1.7	▲7.0
情報通信業	69.8	65.9	27.9	83.7	86.6	75.2	105.0	85.7
運輸業・郵便業	2.9	▲3.5	▲7.1	▲10.7	▲10.1	▲11.0	▲7.7	▲10.1
卸売業・小売業	28.0	19.0	26.8	▲7.1	▲10.9	9.2	4.4	6.4
医療・福祉	▲1.5	▲5.3	▲8.0	▲26.2	1.6	▲15.9	▲1.4	▲20.4
その他のサービス業	46.0	29.1	43.4	15.1	20.0	8.0	10.1	6.8
調査産業計	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4

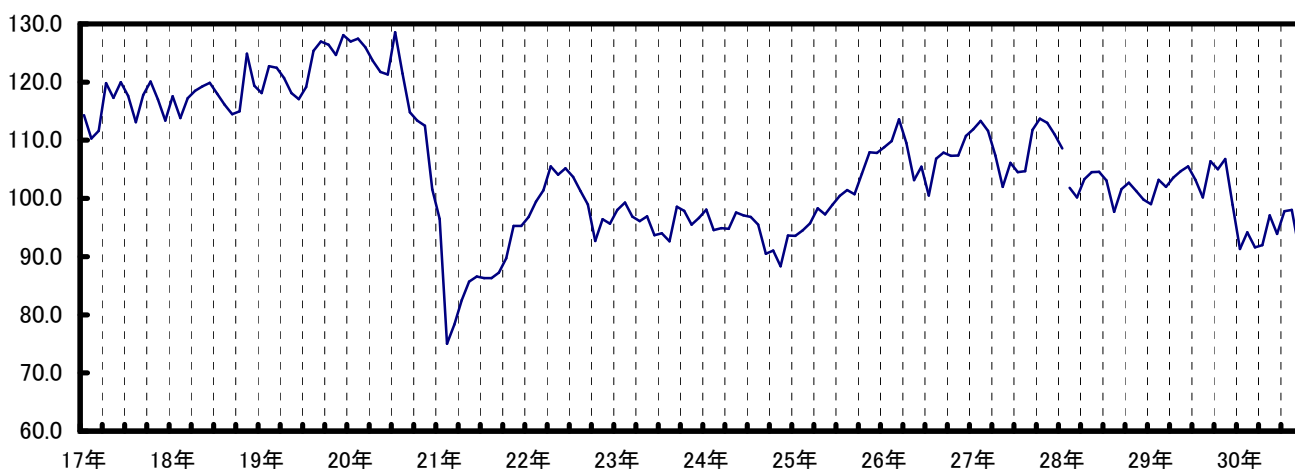
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

11月 = 102.1

(平成27年=100)

*前月比: 0.3%下落

*前年同月比: 2.3%上昇

<概況>

11月の国内企業物価指数は102.1となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は2.3%の上昇となった。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国内企業物価指数	100.5	101.0	101.3	101.7	101.7	102.0	102.4	102.1
前月比 (%)	0.3	0.5	0.3	0.4	0.0	0.3	0.4	▲ 0.3
前年同月比 (%)	2.0	2.6	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.3

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

10月 = 137,361億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 1.1%減

*前年同月比: 1.4%減

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,361億円と、前月比は1.1%の減少となった。また、前年同月比は1.4%の減少となった。

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	140,606	139,122	138,727	139,354	138,340	138,099	138,887	137,361
前月比 (%)	0.8	▲ 1.1	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7	▲ 0.2	0.6	▲ 1.1
前年同月比 (%)	0.6	0.4	0.2	0.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 1.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

10月 = 1.970%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.007ポイント減

*前年同月差: 0.153ポイント減

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.970%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.153ポイントのマイナスとなった。

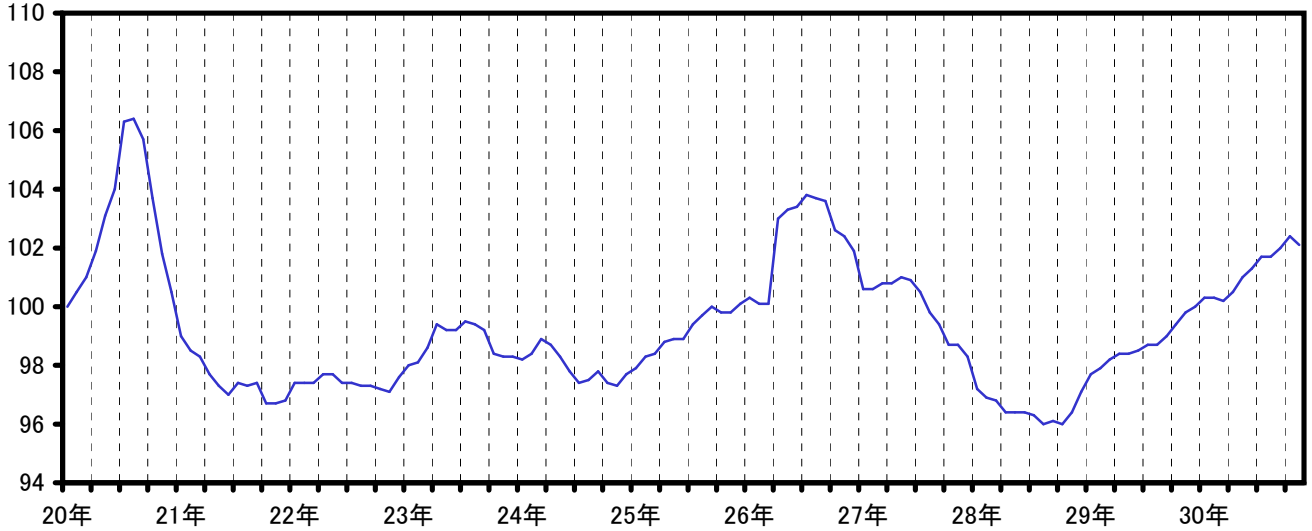
	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利 (%)	2.072	2.070	2.048	2.022	2.018	1.999	1.977	1.970
前月差(ポイント)	▲ 0.028	▲ 0.002	▲ 0.022	▲ 0.026	▲ 0.004	▲ 0.019	▲ 0.022	▲ 0.007
前年同月差(ポイント)	▲ 0.056	▲ 0.063	▲ 0.083	▲ 0.101	▲ 0.102	▲ 0.123	▲ 0.134	▲ 0.153

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

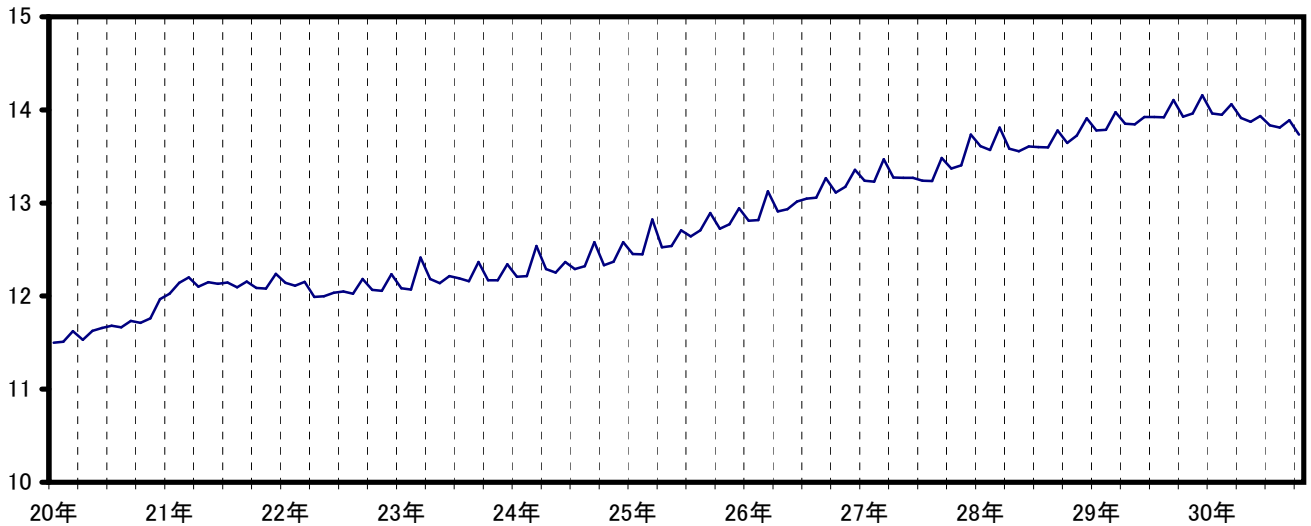
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



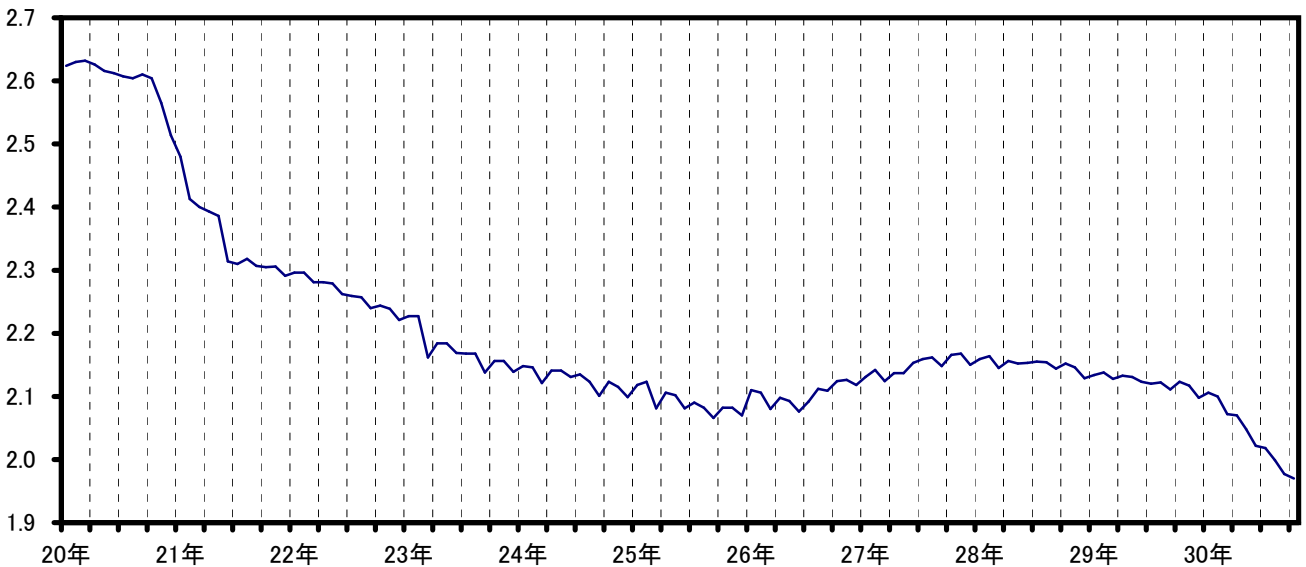
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**10月 = 16,121百万円**

*前年同月比： 1.5%増

<概況>

10月の保証承諾は、金額は16,121百万円（前年同月比 1.5%増）、件数は1,692件（同 3.5%増）と、いずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保証金額（百万円）	24,143	12,080	17,993	18,336	19,024	19,715	18,648	16,121
前年同月比（%）	▲ 7.3	3.3	27.2	▲ 4.9	9.3	8.7	▲ 3.5	1.5
保証件数（件）	2,314	1,421	1,786	1,958	1,920	1,989	1,859	1,692
前年同月比（%）	▲ 4.1	3.0	11.1	▲ 1.4	10.5	2.9	▲ 7.5	3.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**11月 = 113.37円/ドル**

*前月差： 0.59円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 0.45円安

<概況>

11月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は113.37円で、前月と比べて0.59円の円安となり、3か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均相場（円）	107.43	109.69	110.03	111.37	111.06	111.89	112.78	113.37
前月差（円）	1.43	2.26	0.34	1.34	▲ 0.31	0.83	0.89	0.59
前年同月差（円）	▲ 2.63	▲ 2.52	▲ 0.88	▲ 1.07	1.15	1.21	▲ 0.18	0.45

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****11月 = 17件**

*前年同月比： 19.0%減

<概況>

11月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 19.0%減）、負債総額は2,238百万円（同 73.3%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の88.2%を占め、252か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

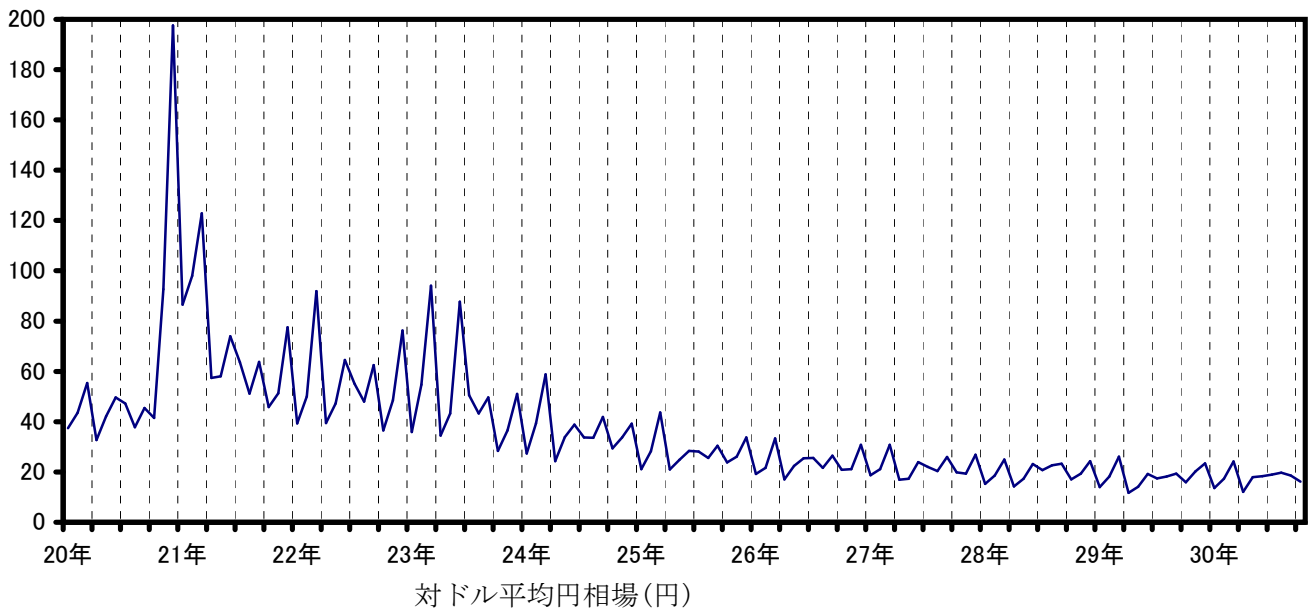
	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
倒産件数（件）	12	24	27	16	22	10	20	17
前年同月比（%）	▲ 47.8	33.3	17.3	▲ 40.7	4.7	▲ 56.5	▲ 13.0	▲ 19.0
うち不況型倒産件数（件）	10	23	22	15	20	9	15	15
負債総額（百万円）	2,113	3,066	5,345	2,099	2,327	662	3,587	2,238
前年同月比（%）	▲ 68.0	31.1	81.8	▲ 33.5	38.5	▲ 57.5	1.2	▲ 73.3

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

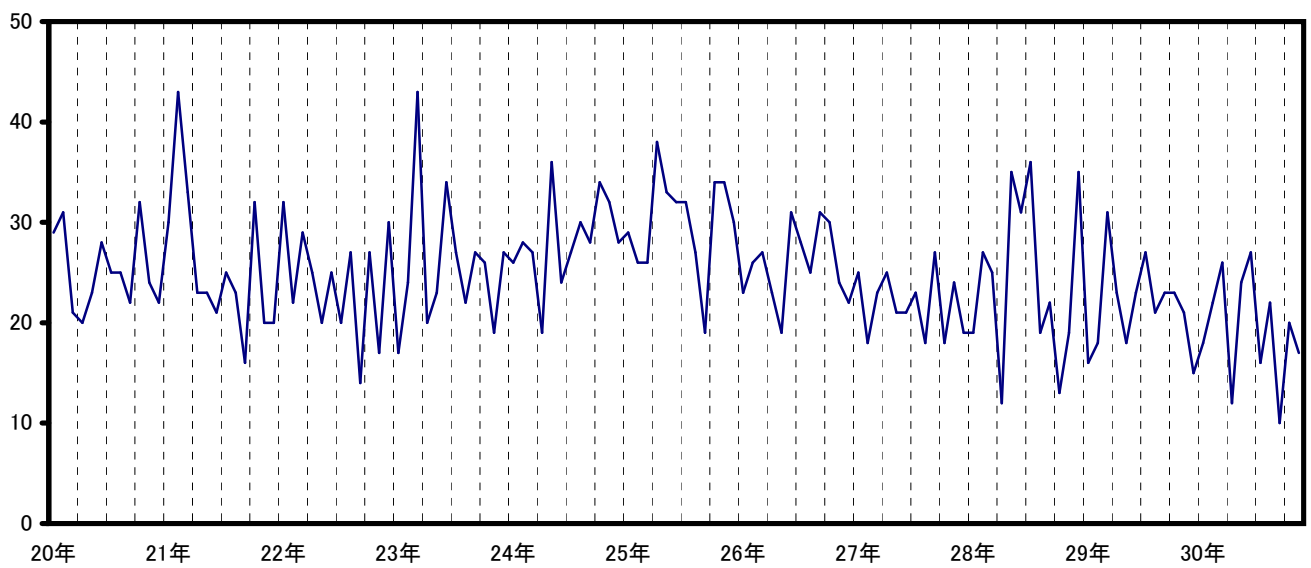


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年10月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>9月の国内二輪車生産台数は、49,431台（前年同月比 8.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、9,711台（同 51.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、6,206台（同 12.1%減）と、9か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、7,451台（同 9.4%増）と、8か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、26,063台（同 3.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、33,102台（同 10.9%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、28,613台（同 19.9%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>9月の自動車国内生産台数は、809,884台（前年同月比 5.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。輸出は392,020台（同 7.5%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、乗用車が4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>10月の冷蔵庫の国内出荷額は254億円（前年同月比 7.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は234千台（同 4.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>10月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは376千台（同 18.4%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。業務用は71千台（同 13.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>9月の携帯電話の国内出荷台数は、1,075千台（同 5.0%増）と、7か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、751千台（同 6.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 69.1%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>10月の工作機械の受注総額は、1,396億1,900万円（前年同月比 0.7%減）と、23か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は819億6,400万円（同 2.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。アジア向けが313億4,700万円（同 17.9%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。内需は576億5,500万円（同 1.7%増）と、21か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「人員確保に苦労している」という声や「来春くらいまでの受注残は確保しているが、米政府による中国製品への制裁関税がどのように影響するか危惧する経営者が多い」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>10月の県内楽器メーカーの販売金額は、49億8,867万円（前年同月比 0.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが28億2,731万円（同 8.8%増）、国内向けが21億6,136万円（同 8.8%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,221台（同 6.9%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,091台（同 3.9%増）、グランドピアノが1,130台（同 12.9%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,322台（同 9.8%増）、国内向けが1,069台（同 9.7%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>10月の紙・板紙の国内出荷高は、2,199千ト（前年同月比 3.3%増）と、15か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は1,126千ト（同 0.9%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。板紙は1,073千ト（同 8.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、621千ト（同 0.1%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、161千ト（同 6.4%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>10月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,043千箱（前年同月比 7.9%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は731千箱（同 6.4%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は557千箱（同 8.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は312千箱（同 11.3%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,884千箱（同 15.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>10月の広幅織物の県内生産は、1,495千㎡（前年同月比 0.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,432千㎡（同 0.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、63千㎡（同 26.2%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、29千㎡（同 8.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>10月の全国百貨店での家具販売額は、47億2,017万円（前年同月比 0.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、576億547万円（同 2.0%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>10月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,408百万円と前年実績を下回った。品目別に見ると、「飲食料品」の販売額は前年実績を上回ったものの、「衣料品」、「身の回り品」、「家庭用品」、「その他の商品」「食堂・喫茶」は前年実績を下回った。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りでは、台風の影響により、買いだめをする客が多かったことや、葉物野菜を中心に単価が上昇したこと等から売上げは前年を上回った。また、西部の専門店への聞き取りでは、台風の影響による防災意識の高まり等から水がよく売れていた。中部の百貨店への聞き取りでは、暑い日が続いたことから衣料品の販売は振るわなかったが、催事の反響が大きく、来客数は増加していた。</p> <p>10月には、沼津市内で、市中心街の空き物件を題材に、まちを元気にする事業プランを作成するリノベーションスクールが開かれた。市内外から若者23人が参加し、空き家、空き店舗の再生策の提案や、事業用の空間づくりの施工を行う「セルフリノベーション」に取り組んだ。商店街で行われた公開プレゼンテーションでは、様々な事業プランのアイデアが発表された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>10月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約37万人と、前年同月比12.6%増だった。</p> <p>3つの台風が発生したことにより、主に屋外施設の来場者数が減少した前年と比べて増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約72万台と、前年同月に比べて8.1%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完成車生産台数(台)	20,900	19,397	16,231	14,242	15,413	12,784	10,823	21,457	29,265
前年同月比(%)	▲ 5.3	▲ 30.2	▲ 25.2	▲ 26.9	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 32.8	44.1	72.9
KD輸出額(百万円)	650	515	752	574	570	589	624	709	779
前年同月比(%)	▲ 7.8	▲ 20.9	10.6	▲ 9.7	▲ 20.1	▲ 23.7	8.5	43.0	29.3

<楽器>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産総額(百万円)	2,905	3,072	3,111	2,565	3,178	3,187	2,767	2,768	3,478
前年同月比(%)	▲ 13.8	▲ 17.5	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 5.0	▲ 5.7	▲ 10.1	5.3

<缶詰>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
食缶生産高(千ケース)	878	1,007	946	960	963	996	966	943	1,043
前年同月比(%)	1.4	1.1	▲ 2.0	8.1	▲ 3.6	3.1	▲ 0.9	▲ 2.2	7.9
うち水産缶詰(%)	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 5.8	0.1	▲ 5.0	5.7	6.8	▲ 0.6	6.4
農畜産缶詰(%)	5.5	15.7	7.1	31.1	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 16.4	▲ 6.3	11.3
飲料缶生産高(千ケース)	5,196	6,952	6,871	8,024	7,394	7,139	7,407	6,774	6,884
前年同月比(%)	▲ 9.8	▲ 4.2	▲ 15.7	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 14.8	▲ 3.2	7.6	15.8

<繊維>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
広幅織物(千㎡)	1,333	1,332	1,274	1,176	1,177	1,137	1,149	1,344	1,495
前年同月比(%)	▲ 3.3	0.8	▲ 4.8	0.5	3.5	1.5	3.5	▲ 4.7	0.1
小幅織物(千㎡)	35	34	31	30	28	27	24	27	29
前年同月比(%)	▲ 0.5	1.4	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 4.6	▲ 0.1	▲ 4.3	▲ 12.9	▲ 8.7

<観光>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
観光施設(10施設)入込 (千人)	263	512	515	536	302	287	531	354	372
前年同月比(%)	▲ 1.7	5.9	1.5	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2	▲ 5.7	▲ 9.5	12.6
有料道路(5路線)通行量 (千台)	625	783	699	719	656	752	890	675	724
前年同月比(%)	▲ 9.2	0.7	▲ 0.1	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9	0.8	▲ 4.1	8.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

平成30年12月号 通巻512号

発行 静岡県経済産業部
平成30年12月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>